

研究名：小児重症脳障害により脳幹反射消失した患者における筋弛緩モニタリングの反応

1. 研究の目的

小児の重症の急性脳障害で脳機能停止した状態の患者の末梢神経刺激による筋弛緩モニターの反応は検討されていません。本研究では当院集中治療室に入室した小児重症急性期の脳障害患者で脳幹反射の消失した後に経時的に筋弛緩モニターにて末梢神経刺激を行った患者の記録を後方視的に検討し、末梢神経障害の経時的变化を調査します。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：2012年8月～2019年2月までに当院ICUに入室した18歳未満の重症の急性期脳障害で、筋弛緩モニタリングを施行した患者さん
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2020年3月31日
- ③ 研究方法：重篤な全脳障害により、脳幹反射消失した患者のうち TOF-Watch もしくは神経刺激装置を用いて顔面神経、尺骨神経、後脛骨神経において経時的に筋弛緩モニタリングをおこなった検査結果を調査し、末梢神経障害の変化を調査します。同時に筋弛緩薬やステロイド投与や腎機能、肝機能、投与薬剤との関係を調査します。

3. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、身長、体重、疾患名、エスラックス投与量、投与期間、体温、ステロイド剤投与量、投与期間、脳波、ABR、対光反射、筋弛緩モニタリング結果、血液検査

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

学術集会での発表又は学会誌への投稿を予定しています。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、6月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 手術・集中治療部 (鈴木康之)

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181 (内線 7048)

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 手術・集中治療部 鈴木康之